（一社）世界文化遺産地域連携会議
2024年度総会資料

（議案1） 役員改選

（議案2）2023年度事業報告

（議案3） 2023年度決算報告

（議案4） 2024年度事業計画

（議案5） 2024年度予算

（議案6） 課題への対応

（議案1）役員改選（案）

代表理事

門川大作前代表理事退任に伴い、松井孝治・京都市長に後任をお願いしたい

副代表理事

新　任：田中幹夫（南砺市長）

あわせて、現行の5名の副代表理事（粉川日光市長・仲川奈良市長・中西斑鳩町長・清元姫路市長・松井広島市長）に再任をお願いしたい

参加意識の一層の高揚を図るため、地域バランスや遺産数（最大20）に配慮した今後の体制についても議論したい

顧　問

松浦晃一郎・元ユネスコ事務局長に再任をお願いしたい

理事・監事　各市町村長　に加え、以下の体制で機能強化に取り組みたい

新　任：　岡井　健（NPO 日光門前まちづくり理事長：事務局次長）

新規の役割　大社　充（デスティネーション総研代表理事：財政強化担当）

再　任：　有川雄二郎（「世界遺産劇場」事務局長）
井戸智樹（事務局長）
後藤　治（工学院大学理事長・総合研究所教授）
熊倉浩靖（高崎商科大学特任教授）
島川　崇（神奈川大学国際日本学部教授）
藤本貴也（全国街道交流会議代表理事）

寺田昭一（監事）

（議案2）（一社）世界文化遺産地域連携会議

2023年度事業報告

１ 交流

（1） メンバー間のメーリングリストの継続・・・年間利用回数53回（通算1186回）

（2） 総会（6月20日）

（3） 交流会（6月20日）

（4） 世界遺産サミット（10月28・29日）

第10回世界遺産サミット（奈良県斑鳩町） ※敬称略
～温・故・知・新 「世界遺産の普遍的価値の継承と活用をデザインする持続可能な地域づくり」～ ●１日目／１０月２８日（土） 午　　前　法隆寺　エクスカーション １３：００パネルディスカッション①　歴史から学ぶ「近世から近代における世界文化遺産の観光史」 モデレーター：平田政彦（斑鳩町生涯学習課参事） パネリスト：森下恵介（京都橘大学非常勤講師）・堀大輔（京都市文化財保護課係長） 北山建穂（日光市文化財課係長）・白神典之（堺市博物館学芸員） １５：００ パネルディスカッション②　現在（いま）を知る「歴史・文化遺産都市を支える『地域づくり』」　モデレーター：麻生憲一（帝京大学経済学部教授・奈良県立大学名誉教授） パネリスト：大野正法（法隆寺執事長）・山本雅章（斑鳩町教育長） 谷垣裕子（奈良県観光局長）熊田順一（JTB 総合研究所主席研究員） １９：００ 「法隆寺 世界文化遺産登録３０周年記念 特別ライトアップ IN 斑鳩」 、「和のあかりと未来へのひかり」 １８：３０ 交流会 ●２日目／１０月２９日（日） ９：００ オープニング 斑鳩小学校「能楽金剛クラブ」　開会式 ９：４５ 講演：古谷正覚（法隆寺管長） １０：１５ パネル・ディスカッション報告 １０：５５ 「持続可能な観光を考える ～文化遺産とツーリズム産業からの視点」 山北栄二郎（株式会社 JTB 代表取締約執行役員長・UNWTO アジア太平洋地区代表理事） １１：１０ 首長会議　青木幸保（平泉町長）・粉川昭一（日光市長）・須藤秀忠（富士宮市長） 北谷雅人（奈良市教育長）・中西和夫（斑鳩町長）・中井章太（吉野町長） 車谷重高（天川村長）・平野嘉也（高野町長）・清元秀康（姫路市長） 明日香村長（特別参加）　進行 井戸智樹（世界文化遺産地域連携会議） 午後：斑鳩町内　エクスカーション
１日目 https://www.youtube.com/watch?v=-IDG2sOjDOk ２日目 https://www.youtube.com/watch?v=aX5emjXbpjs

（3）各地との意見交換等

①各地訪問

遺産名	訪問日等
北海道・北東北の縄文遺跡群	７月１４日・１２月２１日（東北運輸局） １０月９－１１日（北秋田市・弘前市）、 １２月２１－２３日（青森市・弘前市・七戸町）、
平泉	１０月１１日
日光の社寺	１１月１３・１４日（日光市・門前まちづくり）
富岡製糸場と絹産業遺産群	１１月１２・１３日（富岡市・熊倉理事）
国立西洋美術館	１０月１３日（台東区）
富士山	１１月１１・１２日（静岡市）
古都京都の文化財	６月１３日、１０月２３日、２月１４日（門川代表理事）、４月１２・１９日、８月２日、８月２４日、１０月２３日、１１月１７日、１月９日、２月１４日、３月２３日（京都市・各社寺・二条城・大社理事）
古都奈良の文化財	５月２４日、６月２９日、９月２５日、１１月２１日、１２月８日（奈良市・各社寺・委員会）
法隆寺地域の仏教建造物	１０月２７－２９日（世界遺産サミット） ８月１７日・３月１５日（斑鳩町）
紀伊山地の霊場と参詣道	２月６・７日（熊野速玉大社）
百舌鳥・古市古墳群	７月２１日（堺市）、１１月２３日（縄文遺跡群との合同シンポ）
姫路城	５月３日（登録３０周年事業）、１０月２０日（姫路市）
原爆ドーム	８月６－７日（原爆ドーム撮影・広島市）
厳島神社	８月５日（厳島神社撮影）
明治日本の産業革命遺産	１０月１２日（総会出席）、１２月３・４日（長崎市・長崎県）
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	１２月１日―４日（天草市・南島原市・長崎市・長崎県）
琉球王国のグスク及び関連遺産群	１１月３－４日（首里城復興祭）
国関係 ほか	５月２９―３１日、６月１６－２１日、７月１１－１３日、８月２８日―９月４日、１０月８・１３日、１１月１５・１６日、１１月２４－２７日、１２月２５日―２７日、１月１５日－１９日 ３月４－１１日（総会・要望活動関係・文化庁・国交省・観光庁・JNTO・日本観光振興会・クラウドフェンディング・JTB ほか）

②広域実務者会議（ZOOM）

東北・関東（7月31日）
中国・九州（8月8日）
中部・近畿（8月10日）
クラウドファンディング勉強会（10月6日）
世界遺産一斉清掃　振り返り会（12月17日）

２ 要望活動（6月20日）

要望内容 「世界文化遺産の永続的保全と持続的活用を目指して」

１　世界遺産を核とした日本インバウンドの再興
２「世界遺産特別法」の制定等
３　世界遺産など都道府県観光資源の再整理
４　各遺産地別の現況と要望

要望者

門川大作（代表理事・京都市長）・青木幸保（平泉町長）・、小野寺美登（一戸町長）
今正行（つがる市副市長）・坂本龍次（富士河口湖副町長）

要望先（※は事務所訪問のみ）

文化庁（鈴木文化戦略官）　観光庁（星野国際観光部長）

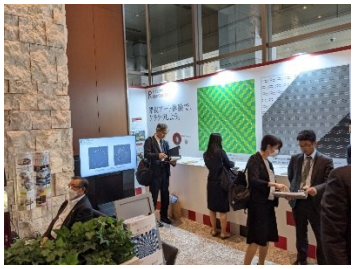
世界遺産議連（馬淵澄夫会長・西村康稔幹事長※・松本剛明顧問※・福山哲郎副会長）

世界遺産サミット議連（鶴保庸介会長※・國場幸之助事務局長）

自民党（二階俊博衆議院議員※・松野博一衆議院議員※・萩生田光一衆議院委員※・高市早苗衆議院議員※）

要望書配布先

世界遺産議連 関係議員、文化庁・観光庁関連個所へ配布（約50か所）



３　いい遺産の日（11月13日＜周辺日＞における「世界遺産一斉清掃」

宗像市の呼びかけにより２年目を迎え、計１２遺産・１７地域が連携。
９４団体、約３６００人の市民（一部 観光客）が参加。

御所野遺跡（一戸町）、日光門前町、富岡製糸場、三保松原（静岡市）
熊野古道伊勢路（三重県）、京都、奈良、石見銀山（大田市）、宗像市・福津市
明治日本の産業革命遺産（伊豆の国市・萩市・中間市・佐賀市・長崎市）
潜伏キリシタン（長崎市・佐世保市）、首里城（那覇市）

御所野遺跡（一戸町）

富岡製糸場 （世界遺産アカデミーとのコラボによるクリーンツーリズムツアー）

日光

宗像

三保松原（静岡市）

長崎

４　共同事業（観光・情報発信・地域づくり系）の推進

（1）「世界遺産×一番催事」の連携

①目的　　・既存催事の活用により、世界文化遺産情報への付加価値をつける
・「日本の国土」（北海道から沖縄まで）「歴史」（縄文時代から戦後まで）に加え「四季の魅力」をアピールする
・インバウンド旅行社などへの「時期ごとおすすめ」を明確化し、訪日ツアー造成促進につなげる
・順次多言語動画の制作をおこない、情報発信素材を整備するとともに、各遺産との相性がいい国に関する調査をおこなう

②経過　　２０１７年　　姫路市からの提案を受け東京五輪に向けた検討を開始
２０１９―２２年　「日本博」の一環で（コロナ期の中）４年間実施

③２０２３年度の取り組み

観光庁観光再始動事業の１つ「Japan’s World Cultural Heritage Annual」として継続。

https://worldheritagejpn.com/　（日・英・中簡・中繁・韓・仏・独・西・葡・伊・露）

	催事名	視聴最多国　※旧 URL 含	最多視聴言語のアドレス
春	富士山×桜	日本(5万視聴)　※	https://youtu.be/M4JrnWcbGFs
	平泉×藤原まつり	台湾（13万視聴）	https://youtu.be/ReNx9aqU4oQ
	石見銀山×夜神楽	ブラジル（16万視聴）	https://youtu.be/SXAt_TFayK8
夏	奈良の夏の夜	フランス（34万視聴）	https://youtu.be/LWFCSQSjTe8
	原爆ドーム・厳島神社×原爆の日	ドイツ（23万視聴）	https://youtu.be/Oz7DegUOUd8
	縄文まつり	英国（19万視聴）	https://youtu.be/wbmNuzVPFcA
秋	京都×紅葉×二条城イベント	イタリア（25万視聴）　※	https://youtu.be/INU9-9YuETA
	琉球王国×首里城復興祭	豪州（16万視聴）	https://youtu.be/Rx80Fjbeito
	白川郷・五箇山放水訓練	米国（5万視聴）　※	https://youtu.be/CzsH0f0vk2k
冬	姫路城イルミネーション	米国（4万視聴）　※	https://youtu.be/VrWWvt1kL28
	潜伏キリシタン×サイレント・クリスマス	韓国（22万視聴）	https://youtu.be/3AaSzcVIE6s

※印・旧 URL 分については FACEBOOK にて、2019英・仏・西、20米国（NY/ロス）に配信

富士山 × 桜

石見銀山 × 夜神楽

白川郷・五箇山 × 一斉放水

姫路城 × イルミネーション

１１言語動画の制作と海外への配信

・「原爆ドーム・厳島神社×原爆の日」の１１言語のテロップ入り動画を制作した。

・ＹＯＵＴＵＢＥ広告にて「縄文遺産×縄文まつり」を英国、「京都×紅葉×二条城イベント」をイタリア「奈良の夏の夜」をフランス、「原爆ドーム・厳島神社×原爆の日」をドイツ、「潜伏キリシタン×サイレントクリスマス」を韓国にて配信した。
・現在の海外のべ視聴者は２３０万人。
　また、国別の最大視聴は「奈良の夏の夜×フランス」の３４万となっている。

撮影風景（原爆ドーム・厳島神社×原爆の日）

奈良の夏の夜

（２）世界遺産スタンプラリー

スタンプ・パンフレットは遺産ごとに２０種類（遺産数）、配布・設置総数累計５３万部。
設置箇所は６５。

平泉文化遺産センター

浅草文化センター

百舌鳥古墳群ビジターセンター

（3）地域別 PT（プロジェクトチーム）

①目的　　各世界遺産・地域が抱える課題に対し、会としてともに取り組み、他の世界遺産・地域でも活用可能な事業ノウハウを獲得・共有化する

②経過　　２０１７年より、文化庁・文化財総合活用予算を活用し、下記を推進

紀伊山地の霊場と参詣道 PT（三霊場シンポ・多言語ガイドブック・外国語道標）　2017-21

西日本世界遺産の共同キャンペーン（原爆ドーム・厳島神社・萩・石見銀山・姫路城）　2018-22

斑鳩 PT（外国語資料などの整備、東京でのセミナーシリーズ）　2018-22

③2023年度の取り組み

観光庁の「観光再始動事業」「インバウンド地方誘客」予算を活用し、テストイベントを実施することによって、各世界遺産・地域に共通するテーマの抽出をおこなった。

テーマ	実施内容	
海外世界遺産との交流 ※先進事例として厳島神社×モンサンミッシェル、熊野古道×サンティアゴ・デ・コンポステーラ	ストーンヘンジと縄文シンポ	１２月・北秋田市

テーマ	実施内容	
形がみえにくい遺産へのストーリーづけ	大森勝山遺跡から、冬至に岩木山頂に沈む夕陽を見るツアー	12月・弘前市

テーマ	実施内容	
普段所蔵庫内にある歴史的文物の公開イベント	二条城での「大正大饗 五節舞姫」の装束展示	11月・京都市

テーマ	実施内容	
既存催事の組み合わせによる海外発信	サイレント・クリスマス（潜伏キリシタンエリア）	12月・南島原市ほか

テーマ	実施内容	
子ども時代からの世界遺産運動への参画機会創出	子どもミュージカル琉球史（首里城復興祭）	11月・那覇市

（議案3）（一社）世界文化遺産地域連携会議

2023年度決算報告

1　収入の部（単位・円）

項目	2023年度 決算額	2023年度 予算額	2022年度 決算額	備考
①市町村長会会費	1,460,000	1,440,000	1,440,000	64 市町村
②事業収入	28.110,000	0	51,560,699	22 年度は文化庁「日本博」23 年度はいずれも観光庁予算より
（地方誘客事業：縄文）	(5,000,000)	(0)	(44,150.699)	
（同：潜伏キリシタン）	(5,000,000)	(0)		
（観光再始動事業）	(16,510,000)	(0)		ストーンヘンジと縄文実行委・南島原市冬のお祭り実行委
（地域負担金）	(1,600.000)	(0)		
（斑鳩 PT）	(0)	(0)	(3,450,000)	PT は 22 年度で 5 年の期間終了
（石見銀山 PT）	(0)	(0)	(3,960,000)	
③交流会費	186.000	240,000	0	
④寄付金	63,805	0	0	2件
⑤利息	29	0	93	
⑥繰越金	3,513,933	3,513,933	3,604,861	
収入計	33,333,767	5,193,933	56,605,653	

２　支出の部（単位・円）

項目	2023年度 決算額	2023年度 予算額	2022年度 決算額	備考（主には収入の部①⑤⑥に対応）
1要望活動費	164,694	200,000	0	冊子作成・筆耕・郵送
2会議費 ・総会開催 ・交流会 ・その他	686,294 （401,961） （220,960） （63,373）	800,000 （700,000） （100,000）	348,560	交流会収入 186,000 円（③）
3 イベント費	6,000	0	29,500	サミット関係
4広報費 ・補助金関係 ・HP ・その他	29,779,921 （29,741,176） （38,745） （0）	1,030,000 0 （30,000） （1,000,000）	44,429,177 （44,402,499） （26,678） （0）	収入の部②④に対応 差額 1,567,371 円は消費税と借入利息
5事業推進費 ・斑鳩 PT ・石見銀山 PT ・その他	11,660 （0） （0） （11,660）	0 （0） （0） （0）	7,428,040 （3,450,000） （3,960,000） （18,040）	（22 年度は収入③に対応） 国予算対応不能分
6調査研究費	33,512	50,000	40,074	書籍・入場料・研究会
7旅費交通費	564,288,	300,000	343,508	別途4内に 678,249 円
8通信費	66,540	50,000	53,644	
9消耗品費 ・事務用品 ・印刷コピー	100,091 （29,509） （70.582）	50,000	53,357	
10地代家賃	24,120	25,000	264,120	貸金庫(貸倉庫)
11税 その他	288,821	80,000	100,880	税、税理士、登記変更
支出計	31,725,941	2,585,000	53,090,860	
次年度繰越金	1.607,826	2,608,933	3,514,793	
総計	33,333,767	5,193,933	56,605,653	

上記「世界文化遺産」連携会議の2023年度決算およびその領収書類につき監査した結果、それが適正に処理されていることを認めます。

（監事）

寺田 昭一

参考資料1　各遺産別の事業実績

北海道・北東北の縄文遺跡群（北海道・青森県・岩手県・秋田県）
・2021年世界遺産登録（2026年が登録5周年） ・11言語「縄文遺跡群×縄文祭り」動画制作（2022年）。縄文時代の4区分ごとのを時系列的に旅する構成 https://youtu.be/bvx3p-FUXzs ・海外での YOUTUBE 広告（2022－23年：台湾・英国の合計視聴者は31万人で全体3位） ・「ストーンヘンジと縄文」シンポジウム（2023年、北秋田市：観光庁インバウンド地方誘客事業） ・「大森勝山遺跡から冬至の岩木山頂に沈む夕陽を眺めるツアー」（2023年、観光庁観光再始動事業） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・弘前市文化体育センター・つがる市縄文遺跡案内所 大平山元遺跡展示施設むーもん館・縄文の学び舎小牧野館・二ツ森貝塚館・御所野縄文博物館 伊勢堂岱縄文館・三内丸山遺跡センター
平泉　ー　仏国土（浄土）を現す建築・庭園及び考古学遺跡群（岩手県平泉町）
・2011年世界遺産登録（2026年が15周年） ・第3回世界遺産｝サミット開催（2016年） ・11言語「平泉×藤原まつり」動画制作（2022年）　https://youtu.be/ReNx9aqU4oQ ・海外での YOUTUBE 広告（2022年：視聴者は台湾13万人） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・平泉文化遺産センター
日光の社寺（栃木県日光市）
・1999年世界遺産登録（本年が登録25周年） ・第6回「世界遺産サミット」開催（2019年） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・MEKKE 日光
富岡製糸場と絹産業遺産群（群馬県富岡市・伊勢崎市・藤岡市・下仁田町）
・2014年世界遺産登録（本年が登録10周年） ・第9回「世界遺産サミット」開催、富岡製糸場西置繭所にて世界遺産の積極活用につき議論（2022年）。 ・クリーンツーリズム・ツアー実施（2023年：観光庁観光再始動事業） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・富岡製糸場・高山社跡・田島弥平旧宅案内所・荒船風穴広場。富岡製糸場は参加者数39000人でトップ
国立西洋美術館
・2016年世界遺産登録（2026年が登録10周年） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・浅草文化観光センター・台東区役所。浅草文化センターはのべ参加者14000人で全体12位

富士山（山梨県・静岡県）
・2013年世界遺産登録（昨年が登録10周年） ・第8回「世界遺産サミット」が富士宮市で計画されていたが、コロナのため分科会のみの ZOOM 開催に（2021年） ・11言語「世界遺産×一番催事」動画制作（2022年）＜https://youtu.be/M4JrnWcbGFs＞ ・日米での FACEBOOK 広告、YOUTIBE広告を実施（2020年）。動画視聴者数は旧アドレス含み8万。当初制作した4遺産中ではロサンゼルス・ニューヨークともにでトップ ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・JR 新富士駅構内観光案内所・三保松原文化創造センター「みほしるべ」・富士山本宮浅間大社観光案内所「寄って宮」・裾野市観光協会・山中湖村観光案内所・身延観光案内所。三保松原文化創造センター「みほしるべ」はのべ参加者18000人で全体9位
白川郷・五箇山の合掌造り集落（岐阜県白川村・富山県南砺市）
・1995年世界遺産登録（来年が登録30周年） ・11言語「白川郷一斉放水＋五箇山ライトアップ」動画制作（2019年）。https://youtu.be/CzsH0f0vk2k ・日米での FACEBOOK 広告、YOUTIBE広告を実施（2020年：動画視聴者数は旧アドレス含み8万）。当初制作した4遺産＝富士山・京都・白川郷五箇山・姫路城 中ではロサンゼルス・ニューヨークともにトップ ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・白川郷バスターミナル・白川郷観光案内所・相倉集落駐車場内財団事務所。白川郷バスターミナルはのべ参加者17000人で全体10位
京都の文化財（京都府京都市・宇治市、滋賀県大津市）
・1994年世界遺産登録（本年が登録30周年） ・ユネスコ世界遺産条約採択40周年会合への協力（2012年） ・世界遺産地図展（京都駅地下街ポルタ）を日本地図センターと共催（2013年） ・第1回「世界遺産サミット」開催（2014年） ・二条城「アートアクアリウム」開催（入場料の10%を祇園祭と会に寄付：2014・17・20年） 。11言語「京都×紅葉×二条城イベント」動画制作（2020年） https://youtu.be/INU9-9YuETA 　日米での FACEBOOK 広告（2020年）、イタリアでのYOUTUBE広告（2023年）を実施。視聴者数の合計は30万で全体4位（旧アドレス含む）。 ・二条城とのコラボで現地特別展示を実施（2023年：観光庁観光再始動事業） ・2023度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・二条城・坂本観光案内所・お茶と宇治のまち歴史公園
古都奈良の文化財（奈良県奈良市）
・1998年世界遺産登録（昨年が登録25周年） ・11言語「奈良の夏の夜」動画制作（2022年）。奈良と京都の距離感、両者の違い（一時代古い仏像の宝庫）、着々と進む平城宮の復元、また8月の夜の催事集積につき強調 ・YOUTUBE 広告（フランス）・Bili 広告（中国本土）の合計視聴者数は39万となりトップ https://youtu.be/LWFCSQSjTe8 ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・県営平城宮天平みつき館・JR 奈良駅観光案内所、JR奈良駅観光案内所はのべ参加者13000人で全体15位

法隆寺地域の仏教建造物（奈良県斑鳩町）
・1993年世界遺産登録（昨年が登録30周年） ・斑鳩PT（2018－22：文化庁世界遺産活性化予算、多言語資料の充実、東京でのレ連続講演会など） ・第10回「世界遺産サミット」開催（2023年） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・法隆寺Ｉセンター
紀伊山地の霊場と参詣道（三重県・奈良県・和歌山県）
・2004年世界遺産登録（本年が登録20周年） ・地域リーダー研修会（2014年、高野山） ・第2回「世界遺産サミット」（2015年） ・紀伊山地の霊場と参詣道PT（2017―21：文化庁世界遺産活性化事業：多言語資料の整備。熊野古道外国語道標の整備、東京でのシンポジウムなど） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・世界遺産熊野本宮館・JR 紀伊勝浦駅観光案内所・高野町観光センター・吉野町観光案内所・天川村総合案内所・道の駅熊野 花の窟・三重県立熊野古道センター。高野町観光センターは参加者19000人、熊野本宮館は14000人で全体の8位と12位
百舌鳥・古市古墳群（大阪府堺市ほか）
・2019年世界遺産登録（本年が登録5周年） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・百舌鳥古墳群ビジターセンター。のべ参加者数37000人で全体2位
姫路城(兵庫県姫路市）
・1993年年世界遺産登録（昨年が登録30周年） ・第5回「世界遺産サミット」開催（2018年） ・西日本の世界遺産連携 PT（文化庁世界遺産活性化予算：全国主要駅でのデジタルサイネージ広告：2018－22年） ・11言語「世界遺産×一番催事」動画制作（2019年） https://youtu.be/VrWWvt1kL28 ・日米での FACEBOOK 広告、YOUTIBE広告を実施（2020年：動画視聴者数は旧アドレス含み8万）。当初制作した4遺産＝富士山・京都・白川郷五箇山・姫路城 中ではロサンゼルス・ニューヨークともに2位。 ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・姫路城登閣口横。のべ参加者数36000人で全体3位。

原爆ドーム（広島県広島市）
・1996年世界遺産登録（2026年が登録30周年） ・世界遺産登録10周年事業への協力（広島県：2016年） ・西日本の世界遺産連携 PT（文化庁世界遺産活性化予算：全国主要駅でのデジタルサイネージ広告：202018－22年） ・11言語「厳島神社・減額ドーム×原爆の日」動画制作（2023年）。2つの遺産が隣接しており船で移動できること、ご神体としての弥山、修復された大鳥居、工事完了した原爆ドーム、原爆の日の式典とようろう流し、お好み焼きや自転車による被爆建物ツアーにつき紹介　https://www.youtube.com/watch?v=Oz7DegUOUd8 ・YOUTUBE による海外広告を実施（2023年）、視聴者は23万 ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・平和公園レストハウス、のべ参加者数28000人で全体5位
厳島神社（広島県廿日市市）
・1996年世界遺産登録（2026年が登録30周年） ・世界遺産登録10周年事業への協力（広島県：2016年） ・西日本の世界遺産連携 PT（文化庁世界遺産活性化予算：全国主要駅でのデジタルサイネージ広告：202018－22年） ・11言語「厳島神社・減額ドーム×原爆の日」動画制作（2023年）。2つの遺産が隣接しており船で移動できること、ご神体としての弥山、修復された大鳥居、工事完了した原爆ドーム、原爆の日の式典とようろう流し、お好み焼きや自転車による被爆建物ツアーにつき紹介 ・YOUTUBE による海外視聴者は23万　https://www.youtube.com/watch?v=Oz7DegUOUd8 ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・TOTO 宮島おもてなしトイレ2F。のべ参加者数30000人で全体4位
石見銀山遺跡とその文化的景観（島根県大田市）
・2007年年世界遺産登録（2027年が登録20周年） ・第4回「世界遺産サミット」開催（2017年） ・「石見銀山×温泉津の夜神楽」11言語制作。石見銀山周辺の楽しみ方（世界遺産情報センター→での事前学習→最盛期の間歩数→公開中の間歩→週末のみ特別実施される間歩ツアー→宿泊場所としての温泉津温泉→石見神楽体験を紹介。 ・同動画の YOUTUBE による視聴数は合計38万件で2位　https://youtu.be/SXAt_TFayK8 ・西日本の世界遺産連携 PT（文化庁世界遺産活性化予算：全国主要駅でのデジタルサイネージ広告：202018－22年） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・石見銀山世界遺産センター。のべ参加者14000人で全体12位
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群（福岡県宗像市・福津市）
・2017年世界遺産登録（2027年が登録10周年） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・海の道むなかた館・大島交流館 ・「いい遺産の日（11月13日）」全国世界遺産一斉清掃実施の中心地

明治日本の産業革命遺産（釜石市・伊豆の国市・萩市・中間市・佐賀市・長崎市・宇城市・鹿児島市ほか）
・2015年世界遺産登録（来年が登録10周年） ・⑰明治日本の産業革命遺産（橋野鉱山ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ・韮山反射炉ｶﾞｲﾀﾞﾝｽｾﾝﾀｰ・萩明倫学舎・旧鹿児島紡績所技師館・遠賀川水源地ポンプ室ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ・ｸﾞﾗﾊﾞｰ園内旧三菱第二ﾄﾞｯｸﾞﾊｳｽ・龍驤館。韮山反射炉ｶﾞｲﾀﾞﾝｽｾﾝﾀｰはのべ参加者21000人で全体7位 ・萩市が西日本の世界遺産連携 PT に参加（文化庁世界遺産活性化予算：全国主要駅でのデジタルサイネージ広告：202018－22年）
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産（長崎市・佐世保市・平戸市・南島原市・五島市・天草市ほか）
・2018年世界遺産登録（昨年が登録5周年） ・11言語「サイレント・クリスマス」動画制作（2021年）、長崎市・平戸市・南島原市・天草市のクリスマス周辺催事を紹介 https://youtu.be/3AaSzcVIE6s ・同動画のYOUTUBE広告を勧告対象に実施‘2022年～23年）。合計22万人の視聴者 ・南島原市のフェスティビタスナタリス（南蛮行列・日本最大級のクリスマスツリーなど）のインバウンド資源化に向けた支援（2023年：観光庁インバウンド地方誘客事業） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター・春日集落案内所・黒島ウェルカムハウス・有馬キリシタン遺産記念館・崎津資料館みなと屋
琉球王国のグスク及び関連遺産群（沖縄県那覇市・うるま市・南城市・中城村・北中城村・今帰仁村・読谷村）
・2000年世界遺産登録（来年が登録25周年） ・第7回「世界遺産サミット」開催（2020年） ・11言語「世界遺産×一番催事」動画制作（2022年） https://youtu.be/Rx80Fjbeito ・首里城復興祭にて琉球史子どもミュージカルを支援（2023年：観光庁観光再始動事業） ・2023年度までの世界遺産スタンプ設置箇所・・・首里城公園レストセンター・緑の館セーファ・中城城跡入口財団事務所・あまわりパーク案内所・今帰仁村グスク交流センター。首里城公園レストセンターはのべ参加者数24000人、あまわりパーク案内所は1500人で全体の5位と11位。

（議案4）（一社）世界文化遺産地域連携会議

2024年度事業計画

1 交流

（1） 第11回世界遺産サミットの開催

京都→和歌山→岩手→石見銀山→姫路→日光→沖縄→富士宮（分科会のみリモート開催）→富岡→斑鳩 に続き、11回目を東京にて開催する。

世界遺産サミット in 東京（内容調整中）
●１日目／９月２７日（金） 会場：ツーリズムＥＸＰＯ（東京ビッグサイト）　会議棟６Ｆ　６０５－６０８ https://www.t-expo.jp/ （１５；００－１５：３０　映像放映） １５：３０　来賓挨拶 １５：４５　先進事例紹介 パネルディスカッション（首長会会議） １７；００　終了 総合司会：久保美智代、パネルディスカッション進行：島川崇 １８：００　交流会 ●２日目／９月２８日（土） エクスカーション（国立西洋美術館—文化庁皇居内施設→産業遺産情報センター） 終了１６：００

（2） メーリングリストの継続

（3） 総会（ZOOM：9月12日）

２ 要望活動

情勢の変化に伴い本年度は実施を見合わせ、1年間をかけ今後のあり方（実施の必要性、要望内容・要望方法、議連のあり方など）につき抜本的な見直し作業をおこなう。

３　いい遺産の日（11月13日周辺日における「世界遺産一斉清掃」等

活動を拡げて行くことを目的に「いい遺産プロジェクト」とし、事業内容をリニューアルして充実させて行く。「世界遺産一斉清掃」から「いい遺産プロジェクト」に名称変更。活動内容を清掃活動に限定せず「構成資産を守り価値を伝える活動」に拡充。統一ロゴマークの設定など。

４ 「世界遺産で巡る日本史」の書籍化検討

５　共同事業（観光・情報発信・地域づくり系）の推進

①国予算の確保に取り組んでいるが、時点では採否が不透明であり、当面は以下のような方法で事業を実施する。
②世界遺産スタンプラリーについては2024年3月で一旦終了し、８月より「共同事業参加市町村」による継続に移行する。
③HP や映像については引き続き現状のものを会として活用し、「歳時記」として残す。ただし、情報更新や（国予算獲得時に実施する）新規動画制作・YOUTUBE広告などについては原則共同事業参加市町村を中心に実施する。

（ご参考）共同事業参加市町村（計350万円：再調整中の自治体除く）
（1）縄文遺跡群 ①弘前市 ②つがる市 ③七戸町 ④一戸町 ⑤鹿角市
（2）日光 ⑥日光市
（3）富岡製糸場 ⑦富岡 ⑧下仁田町
（4）国立西洋美術館 ⑨台東区
（5）富士山 ⑩富士吉田市
（6）白川郷・五箇山⑪南砺市
（7）古都京都 ⑫京都
（8）紀伊山地 ⑬田辺市 ⑭高野町
（9）厳島神社 ⑮廿日市市
（10）宗像 ⑯宗像市
（11）潜伏キリシタン ⑰平戸市 ⑱南島原市 ⑲天草市　　＜（12）⑳首里城公園＞

（議案5）（一社）世界文化遺産地域連携会議

2024年度予算

1　収入の部（単位・円）

項目	2024年度 予算額	*2023年度* *決算額*	*2023年度* *予算額*	備考
①　市町村長会会費	1,460,000	*1,460,000*	*1,440,000*	64 市町村
②　市町村共同事業費	3,500,000	*0*	*0*	18 市町村
③事業収入 （地方誘客事業：縄文） （同：潜伏キリシタン） （観光再始動事業） （地域負担金）	0 (0) (0) (0) (0)	*28.110,000* *(5,000,000)* *(5,000,000)* *(16,510,000)* *(1,600.000)*	*0* *(0)* *(0)* *(0)* *(0)*	23 年度はいずれも観光庁予算より
⑤交流会費	200,000	*186.000*	*240,000*	
⑥寄付金	0	*63,805*	*0*	
⑦利息	0	*29*	*0*	
⑧繰越金	1.607,826	*3,513,933*	*3,513,933*	
収入計	6,767,826	*33,333,767*	*5,193,933*	

２　支出の部（単位・円）

項目	2024年度 予算額	2023年度 決算額	2023年度 予算額	備考
1要望活動費	0	164,694	200,000	冊子作成・筆耕・郵送
2会議費 ・総会開催 ・交流会 ・その他	500,000 (300,000) (200,000)	686,294 (401,961) (220,960) (63,373)	800,000 (700,000) (100,000)	収入の部④に対応
3 イベント費	0	6,000	0	サミット関係
4広報費 ・補助金関係 ・HP ・その他	3,500,000 0 (500,000) (3,000,000)	29,779,921 (29,741,176) (38,745) (0)	1,030,000 0 (30,000) (1,000,000)	収入の部②に対応
5事業推進費	0 (0) (0)	11,660 (0) (11,660)	0 (0) (0)	(22 年度は収入③に対応) 国予算対応不能分
6調査研究費	50,000	33,512	50,000	書籍・入場料・研究会
7旅費交通費	300,000	564,288,	300,000	
8通信費	50,000	66,540	50,000	
9消耗品費 ・事務用品 ・印刷コピー	50,000	100,091 (29,509) (70.582)	50,000	
10地代家賃	24,500	24,120	25,000	貸金庫(貸倉庫)
11税 その他	80,000	288,821	80,000	税、税理士、登記変更
支出計	4,554,500	31,725,941	2,585,000	
次年度繰越金	2,213,326	1.607,826	2,608,933	
総計	6,767,826	33,333,767	5,193,933	

（議案6）課題への対応

会の安定的運営に向けて

世界文化遺産地域連携会議は、発足から14年目を迎えたが、今後の会の安定的運営に向けては、活動内容のあり方や会費をはじめとする財政面、会員間の役割分担や事務局体制のあり方等について、検討していく必要があると考えている。

（1）現状の会は①交流、②要望、③共同事業推進という「連携しないとできないこと」に絞った活動をおこなってきている。

（2）①②と③のうち費用がかからないものについては、市町村長会費をもって運営されている。

（3）③のうち費用が必要な観光系事業については、本年度より「市町村共同事業参加費」を設けるほか、国等からの補助金の確保、企業・団体・地域とのコラボによる資金獲得を目指して行く。事務局の安定的維持に向けたクラウドファンディング等についても本年度より取り組んで行く。

ご参考：会決算額の推移

年度	決算額（万円）	紀伊山地 PT	斑鳩・石見 PT	日本博	観光庁文化庁	市町村共同事業	その他
2016	429						
2017	1666	○					
2018	3466	○	○				
2019	7981	○	○	○			
2020	8114	○	○	○			
2021	8000	○	○	○			
2022	5660		○	○			
2023	3333				○		
2024	676 ※予算額				？	○	？

参考資料2　（一社）世界文化遺産地域連携会議 定款

第１章 総則

第１条（名称）　当法人は、一般社団法人「世界文化遺産」地域連携会議と称する。

第２条（主たる事務所）　当法人は、主たる事務所を京都市中京区に置く。

第３条（目的）　当法人は、日本国内の「世界文化遺産」に関係する市町村および特別区と、それに関連する専門家や市民リーダーが連携し、世界文化遺産の永続的な保全やそれを活用した観光、地域づくりを実践・提案するとともに、各種の共同事業を実施していくことをその目的とする。

第4条（公告）当法人の公告は、電子公告（ http://www.worldheritagejpn.com/ ）の方法により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第2章 社員

第5条（入社）1 当法人は、その目的に賛同し入社した、世界文化遺産を有する日本の市町村長や特別区長、世界文化遺産・地域づくり・観光・地域連携などにかかわる専門家、地域リーダー、情報・観光関係者、行政スタッフなどを社員とする。 2 社員となるには、社員1名以上の推薦と社員総会での承認を得るものとする。 3 同一の企業グループ関係者、または三親等以内の親族からの社員は原則5名以内とする。

第6条（社員の資格喪失） 社員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。1 退社したとき 2 成年被後見人または被保佐人になったとき 3 死亡し、もしくは失踪宣告を受け、または解散したとき 4 除名されたとき 5 社員総会における同意があったとき

第7条（退社） 社員は、いつでも退社することができる。ただし、1か月以上前に当法人に対して予告をするものとする。

第8条（除名） 当法人の社員が当法人の名誉を棄損、もしくは当法人の目的に反する行為をしたとき、または社員としての義務に違反したときは、社員総会の特別決議によりその社員を除名することができる。

第3章 社員総会

第9条（社員総会） 当法人の社員総会は、定時社員総会および臨時社員総会とし、定時社員総会は毎事業年度の終了後3か月以内に、臨時社員総会は必要に応じて開催する。

第10条（招集） 社員総会の招集は、代表理事が行う。招集通知は、会日より1か月前までに各社員に対して発する。

第11条（決議の方法） 社員総会の決議は、法令に特別の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が委任状を含め参加し、その過半数をもってこれを行う。

第12条（議決権） 各社員は各1個の議決権、理事は各2個の議決権を有する

第13条（議長） 社員総会の議長は、代表理事がこれに当たる。代表理事に事故があるときは、当該社員総会で議長を選出する。

第14条（議事録） 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に備え置く。

第15条（内部組織） 1 要望活動実施などを目的に、会の内部組織として、市町村・特別区長会を設置する。

2 社員は会の内部組織として、複数社員を構成メンバーとする研究会、プロジェクトチームなどを結成することができる。

3 研究会・プロジェクトチーム等、会に関係する組織結成にあたっては、活動開始前に代表理事、また活動開始後初回の社員総会にて承認を得るものとする。

第4章 役員

第16条（役員） 当法人に次の役員を置く。 1 理事：世界文化遺産を持つ市町村長および民間人若干名 2 代表理事：1名

第17条（任期） 1 理事の任期は、選任後２年以内の最終の事業年度に関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。 2 理事が、辞任等により定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

第18条（理事・職務権限）1理事は社員総会の決議によって社員の中から選任する。 2 理事は、当法人に関する業務執行を行う。

第19条（代表理事・職務権限） 1 当法人は、代表理事1名を置き、理事の互選によって定める。 2 代表理事は、当法人を代表し、当法人の業務を統括する。

第5章 計算

第20条（事業年度） 当法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの年1期とする。

第21条（事業計画および収支予算） 1 当法人の事業計画および収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに代表理事が作成し、直近の社員総会において承認を得るものとする。これを変更する場合も同様とする。 2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しない時は、代表理事は社員総会の議決に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。 3 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

第22条（剰余金の分配の禁止） 当法人の剰余金は、これを一切分配してはならない。当法人が解散（合併または破産による解散を除く）したときに残存する財産は、国や一定の公益的団体に贈与する。

（2018年7月制定、2022年8月＜2条＞・2023年6月＜12条＞一部改訂）

参考資料3 （一社）世界文化遺産地域連携会議（２０２４年８月現在）

顧　　問　松浦晃一郎（元・ユネスコ事務局長）

理　　事　西　秀記（青森市長）櫻田宏（弘前市長）倉光弘昭（つがる市長）
小又　勉（七戸町長）山﨑結子（外ヶ浜町長）
小野寺美登（一戸町長）津谷永光（北秋田市長）関厚（鹿角市長）
青木幸保（平泉町長）
粉川昭一（日光市長）
榎本義法（富岡市長）臂　泰雄（伊勢崎市長）新井雅博（藤岡市長）
原　秀男（下仁田町長）
服部征夫（東京都台東区長）
堀内　茂（富士吉田市長）渡辺英之（富士河口湖町長）望月幹也（身延町長）
高村正一郎（山中湖村長）
難波喬司（静岡市長）須藤秀忠（富士宮市長）村田　悠（裾野市長）
勝又正美（御殿場市長）小長井義正（富士市長）込山正秀（小山町長）
成原　茂（白川村長）田中幹夫（南砺市長）
松井孝治（京都市長）佐藤健司（大津市長）松村淳子（宇治市長）
仲川げん（奈良市長）
中西和夫（斑鳩町長）
河上敢二（東紀州地域振興公社理事・熊野市長）中井章太（吉野町長）
車谷重高（天川村長）真砂充敏（田辺市長）平野嘉也（高野町長）
堀順一郎（那智勝浦町長））大江康弘（白浜町長）
永藤英機（堺市長）
清元秀泰（姫路市長）
松井一實（広島市長）
松本太郎（廿日市市長）
楫野弘和（大田市長）
小野　共（釜石市長）山下正行（伊豆の国市長）田中文夫（萩市長）
福田健次（中間市長）坂井英隆（佐賀市長）鈴木史朗（長崎市長）
守田憲史（宇城市長）下鶴隆央（鹿児島市長）
伊豆美沙子（宗像市長）原崎智仁（福津市長）
宮島大典（佐世保市長）黒田成彦（平戸市長）松本政博（南島原市長）
野口市太郎（五島市長）馬場昭治（天草市長）
知念　覚（那覇市長）中村正人（うるま市長）古謝景春（南城市長）
久田浩也（今帰仁村長）比嘉麻乃（中城村長）比嘉孝則（北中城村長）
有川雄二郎（元・ＳＡＰ代表）　大社　充（ＤＭＯ推進機構代表理事）
熊倉浩靖（高崎商科大特任教授）後藤治（工学院大理事長・総合研究所教授）
島川　崇（神奈川大国際日本学部教授）藤本貴也（全国街道交流会議代表幹事）
井戸智樹（事務局長）

社員

朝廣佳子（読売奈良ライフ代表）、安藤周治（ひろしまNPOセンター代表・NPOひろしまね理事長）、石丸美穂子（熊野古道ガイド）、糸永正之（アラスカ大フェアバンクス校特別顧問）、乾昌弘（明新社社長：奈良）、入江田翔太（MEBUKU 代表取締役）、岩垣保（テレビマンユニオン・世界ふしぎ発見プロデューサー）、植木孝（株・地球の歩き方 クリエィティブ室エキスパート）、上野誠（国学院大学教授）、内山裕紀子（くまの体験企画代表）

内海一郎（元・三重県東紀州振興課長補佐）、大國晴雄（元・大田市教育長）、大窪健之（立命館大学研究部長）、大田原功（今帰仁グスクを学ぶ会理事長）、大山耕介（PHP 研究所文化事業局長）、岡井健（NPO日光門前まちづくり理事長）、緒方修(NPOアジアクラブ理事長・日本GNH学会会長：沖縄)、小川登志子（富士宮市観光協会長）、小野寺郁夫（小野寺設計室代表：平泉）、片上敏喜（日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科専任講師）

上村大平（奈良県商工会連合会）、川崎阿久里（世界文化社グループ・世界文化社・編集プロモーション部）、木谷俊樹（読売テレビ）、桐野耕一（長崎コンプラドール代表）、久遠裕子（株式会社ユニバーサルワーカーズ取締役、軍艦島コンシェルジュ・統括マネージャー、軍艦島デジタルミュージアム・プロデューサー）、久保哲矢（NAKED エグゼクティブ・プロデューサー）、久保美智代（旅する世界遺産研究家、アナウンサー・キャスター）、小池秀明（NPO日光門前まちづくり事務局長）、小泉和子(フォーリン・プレスセンター)、佐滝剛弘（城西国際大学観光学部教授・NPO産業観光学習館専務理事）

塩見正成（大阪観光局マーケティング事業部長・JTB）、城之内ミサ（音楽家・ユネスコ平和芸術家）、須藤元（ジェイキャスト顧問）、高橋一夫（近畿大教授）、高橋史郎(一般財団法人公園財団 肥後細川庭園)、多田稔子（田辺市熊野ツーリスムビューロー会長）、多田みのり（歴史と旅のﾗｲﾀｰ･奈良市観光使）、辰巳裕（NPO奈良好き人のつどい理事長）、田中恭一（一般社団法人総合研究フォーラム・コーディネーター）、田中俊徳（九州大学アジア・オセアニア研究教育機構准教授教）

谷博子（元JNTOソウル事務所長）、長南哲生（日光世界遺産の会）、土居好江（一般社団法人京すずめ文化観光研究所代表）、富井義夫（世界遺産写真家）、中野秀俊（旅行読売メディアプロモーション部）、中村直美（交通新聞社常務取締役第2出版事業部長）、中山栄一郎（歴史と出会えるまちづくり船場城西の会：姫路）、滑田教夫（京都旅企画代表）、野添ちかこ（ライター）、野々村邦夫（日本地図センター顧問）

花井正光（琉球弧世界遺産フォーラム代表、元琉球大学教授）、浜野伸二（JA全中広報部・東京成徳大学非常勤講師）、平井佳亜樹（一般社団法人・西芳会）、福井善朗（元・山陰インバウンド機構代表理事）、三島敏樹（白川郷・田島家養蚕展示館館長）、三石学（熊野旅の文化企画代表）、皆川広一（さくらFM 代表取締役）、宮澤光（NPO世界遺産アカデミー主任研究員）、宗田好史（関西国際大学教授）

村田武一郎（奈良フェニックス大学運営委員長）、矢野純一（フォーリンプレスセンター 取材協力課長）、八重樫忠郎（平泉文化センター客員教授）、山上直子（サンケイ新聞論説委員）、山内道美（今帰仁グスクを学ぶ会前・事務局長）、吉永憲（共同ピーアール）、渡邉智彦（一般社団法人京すずめ文化観光研究所）

監事　寺田昭一